

アルミニウム合金製作業台
(CEH)

コンスタワー

取扱説明書

このたびは本製品を、お買い上げいただきましてありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。
ご使用前は、必ずこの取扱説明書をよく読みいただき事故が起こらないよう、内容にしたがって正しくお使い下さい。
また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取りだせるところへ大切に保存して下さい。



- アルミニウム合金製作業台「コンスタワー」は、正しく使用されないと転倒や転落の危険があります。お使いになるときは本製品の安定した状態を確認して下さい。

- この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても、責任を負いかねますのでご了承下さい。

表示マークについて	2
各部の名称及び仕様	3
伸縮脚調節の伸縮機能について	5
安全のために、必ず守っていただきたいこと	6
1. 使用条件について	6
2. ご使用になる前に	7
3. 運ぶときは	7
4. 設置する場所について	8
5. 作業台を開閉するとき	9
6. 作業台を設置するとき	9
7. 昇り降りや作業をするとき	10
ご使用前の点検	12
1. 目で見て点検	12
2. 触って点検	13
3. 作業台を開閉して点検	13
設置場所について	14
作業台の使い方	14
1. 使用状態にするときとたたみかた	14
2. 昇りかた・降りかた・作業のしかた	16
使用後のお手入れと保管のしかた	17
1. お手入れのしかた	17
2. 保管のしかた	17
移動・積み重ねのしかた	18
故障かな？と思ったら（不調診断）	19

表示マークについて

取扱説明書や製品のラベルに記載されている
 マーク付の説明は、安全上特に重要な項目ですから、必ずお守り下さい。

危険

記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。

警告

記載されている内容を守らなければ、死亡や損害事故が生じる危険のあることを示します。

注意

記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損する恐れのあることを示します。

※破損したままで使用しますと、転倒や転落による事故の原因となります。



禁止

このマークは、禁止（してはいけないこと）を示します。



強制

このマークは、強制（必ずすること）を示します。

<絵表示について>

警告表示の要点が一目で理解できるように、警告ラベルの中で絵表示を使用しています。絵表示には、下記の意味があります。



感電注意

持ち運びや移動・設置時に、配電線に触れると感電して危険であることを注意しています。



手をはさまないよう注意

スライドする箇所や可動する箇所では、手をはさむ恐れがあることを注意しています。



背面降り禁止

天板から降りるとき、背面降りすると身体が不安定になり、足を踏みはずして転落の恐れがあることを注意しています。



伸縮脚のロック確認
忘れに注意

伸縮脚をロックしていないと、伸縮脚が縮んで作業台から転落する恐れがあることを注意しています。



天板の上で爪先立ちするな

天板の上で爪先立ちすると身体のバランスを崩して、転倒する危険があることを注意しています。



乗り出し禁止

囲いより乗り出した状態ではバランスをくずし転倒する恐れがあることを注意しています。



左右方向転倒注意

壁や物を無理に押したり、引いたりするとその反動でバランスをくずすことを注意しています。



囲いに乗るな・腰掛けるな

囲いに乗ったり・腰掛けたりすると、囲いが破損・変形などおこし、転倒する危険があることを注意しています。

各部の名称及び仕様

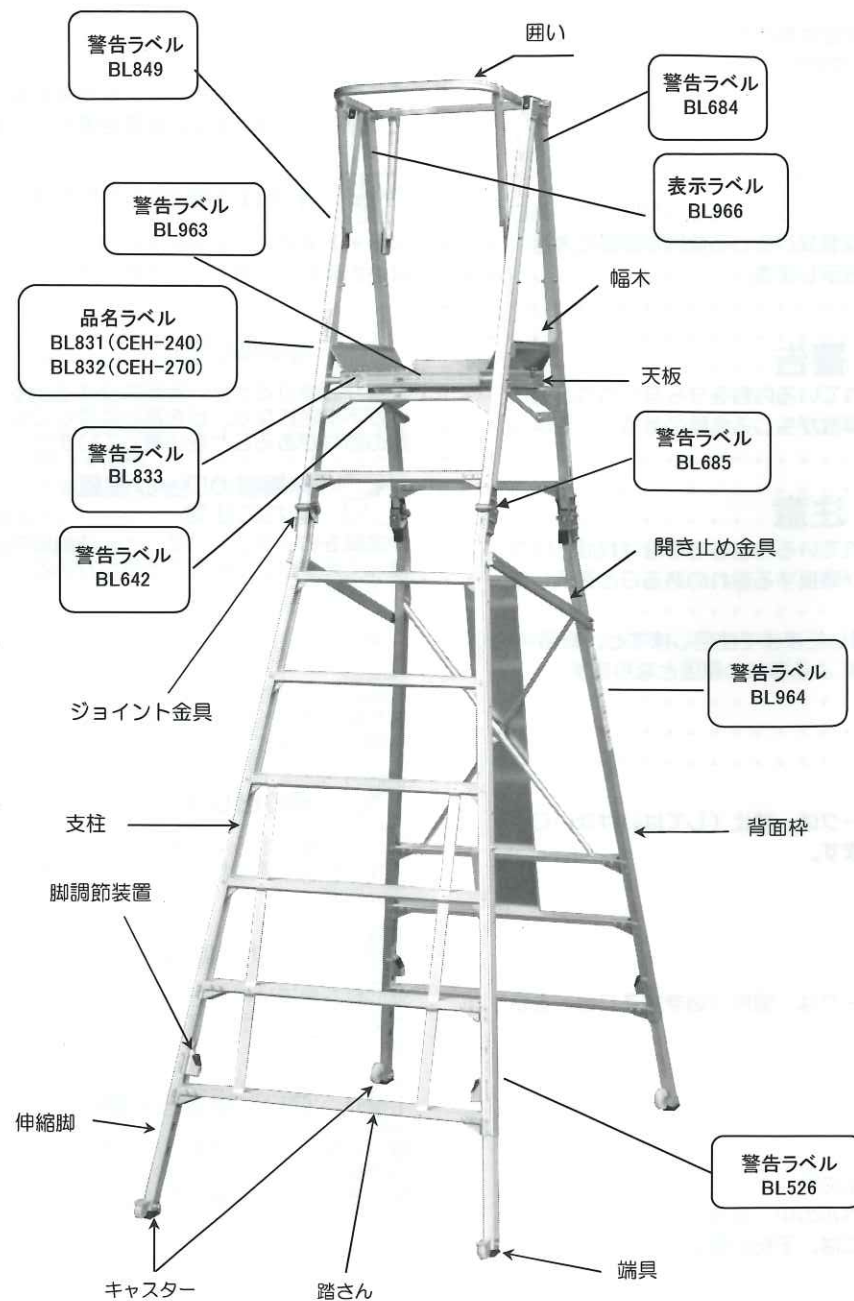


Photo : CEH-270

各部の名称及び仕様

(背面側)



表示ラベル
BL847

仕 様

型 式	作業床高さ (mm)	天板寸法 (mm)		設置スペース (mm)		質量 (kg)
		長さ	幅	正面幅	奥行き	
CEH-240	2075~ 2375	600	500	1060~ 1138	1673~ 1820	31
CEH-270	2400~ 2700	600	500	1145~ 1222	1835~ 1980	33

型 式	収納スペース (mm)			キャスター
	長さ	幅	厚み	
CEH-240	1734	1060	375	昇降面: φ50
CEH-270	2078	1145	376	背面: φ100

伸縮脚調節の伸縮機能について

スプリングの押し上げ力によるロックと伸縮脚に荷重が掛かると、荷重分ロックされるダブルロック方式です。

ノブを下に押し下げると、伸縮脚が伸縮できる状態になります。

荷重が掛かれば掛かるほど、強く固定される構造になっています。(クサビの原理で噛み合う力が強くなる。)

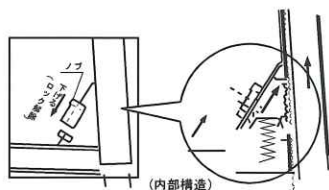
※念のため、ノブをロックした後、伸縮脚が滑らないか確認してからご使用ください。確実にロックされたかどうかわかりやすい色表示でひと目で確認できるよう確認窓を設けました。

赤→ロック解除(伸縮可能)状態を示します。

青→ロックされた状態を示します。

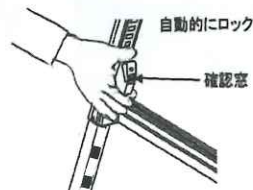
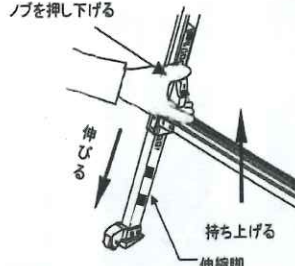
尚、伸縮脚を縮める場合は、荷重がかかっていると作動しない構造になっていますので、伸縮脚を少し浮かせて、ノブ操作を行ってください。

作業床に人及び荷を載せたまま操作をしないでください。必ず、作業床上に何ものっていないことを確認した上で伸縮操作を行ってください。



伸ばしかた

ノブを押し下げる



縮めかた



安全のために、必ず守っていただきたいこと

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

1. 使用条件について

警告 作業台としての用途以外の使いかたをしないで下さい。

この製品は、高所の作業に使用する為の「作業台」です。使いかたを誤ったり、用途以外の使いかたをしますと、転倒や転落による重大な事故の恐れがあります。

警告 使用質量150kgを守って下さい。

体重と荷物の合計質量が使用質量を超えるときは、使用しないで下さい。また、荷物は身体の安定が保てる程度の大きさや重さにして下さい。

注意 貼りつけてあるラベルが無くなったり、読めなくなった製品は使わないで下さい。

必ず弊社から新しいラベルを取り寄せ、正しい位置に貼り、内容を理解してから使ってください。※ラベルを取り寄せる時は、ラベルのナンバー(3、4ページ参照)をご覧ください。

警告 天板作業時は必ず 囲い・幅木及び開き止め金具をセットして下さい。

囲い及び幅木のセットは作業台に昇る前に行ってください。

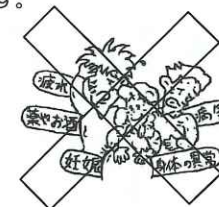
警告 作業台を加工や改造しないで下さい。重大事故を起す恐れがあります。

注意 作業に適した服装で使ってください。

作業を行う際は、ヘルメット・安全靴等の安全具を着用し、正しい服装(作業服)で作業を行ってください。また、必要に応じて安全帯を着用してください。※安全帯使用時は本品以外の箇所へセットしてください。

注意 身体が下記の状態のときは使わないで下さい。

- 疲れているとき
 - 薬やお酒を飲んだとき
 - 病気や妊娠しているとき
 - 身体に異常を感じるとき
- 身体のバランスが保てず、転倒や転落の恐れがあります。



注意 お子様や取扱説明書・警告ラベルの内容が理解できない人には使わせないで下さい。

この製品の取扱説明書や警告ラベルには、安全に使用する上で特に重要な事が書かれていますので、内容が理解できない人が使うと危険です。

注意 この製品を人に貸す場合は、取扱説明書と一緒に貸し出してください。

安全のために、必ず守っていただきたいこと

2. ご使用になる前に

- ⚠ 警告** 使う前には必ず「ご使用前の点検(12、13ページ)を行い、異常のないことを確認して下さい。

異常のあるときは、絶対に使わないで下さい。
重大な事故につながる恐れがあります。



- ⚠ 警告** 変形した作業台を使わないで下さい。

この製品はアルミ製です。曲がったアルミ材は曲げ直すと強度が著しく低下します。したがって変形した製品を修正して使用すると、容易に折れたり曲がったりして重大な事故の原因になります。

3. 運ぶときは

- ⚠ 注意** トラックなどにロープで固定するときは、ロープを激しく引張らないで下さい。

製品に亀裂が入り、使用中に折れて転落の恐れがあります。



- ⚠ 注意** 持ち運ぶときは、引きずったり投げたり乱暴に扱わないで下さい。

乱暴に扱うと、変形やヘコミ、破損の原因になります。

- ⚠ 注意** 移動時は折畳んで持ち運ぶか、キャスターを使って移動してください。

(P18 移動のしかた参照)

安全のために、必ず守っていただきたいこと

4. 設置する場所について

- ⚠ 危険** 設置するときや持ち運ぶ時は、配電線に注意して下さい。



この製品は電気を通しますので、配電線に触れると感電し、重大な事故につながる危険があります。

- ⚠ 警告** 作業台が安定しない場所には、設置しないで下さい。

設置場所が下記の状態では、作業台が傾いて転倒や転落の恐れがあります。

- 軟らかい地面や床で、作業台が安定しない場所。
- 段差があったり、凸凹があって安定しない場所。
- 作業台がガタツク場所。
- 傾斜している地面や床、屋根の上。
- 積雪している場所。
- その他、安定しない場所。

- ⚠ 警告** 作業台が滑りやすい場所には設置しないで下さい。

設置場所が下記の状態では、転倒や転落の恐れがあります。

- 滑りやすいビニール製の床、タイル、鉄板の上。
- 濡れている地面や床。
- 積雪や凍結している場所。
- 砂、ゴミ、ホコリ、落葉等で滑りやすい地面や床。
- その他、滑りやすい場所。

- ⚠ 警告** 人の出入口やドアの前には設置しないで下さい。

出入りする人や開けたドアで、作業台が倒されて転倒や転落の恐れがあります。

- ⚠ 警告** 雨の中や、風の強い場所には、設置しないで下さい。

濡れた踏さんや天板で滑ったり、強い風を受けて身体のバランスを崩して、転倒や転落の恐れがあります。

- ⚠ 警告** 足元や周囲がはっきり見えない暗がりに、設置しないで下さい。

足を踏み外したり、周囲の危険な物に気付かない事が原因で、転倒や転落の恐れがあります。

- ⚠ 警告** 作業台の水平を確保し、傾斜地での使用はしないでください。

安全のために、必ず守っていただきたいこと

5. 作業台を開閉するとき

- 警告** 作業台を完全に開き、開き止め金具を左右確実にセットして下さい。



開き止め金具のセットが不十分で使うと作業台が開いたり、折りたたまれて転倒や転落の恐れがあります。



開き止め金具

- 警告** 作業台を開閉するときは、可動部や回転部で、手をはさまないように注意して下さい。



けがをする恐れがあります。

- 警告** 階段枠のセット時はジョイント金具外面にロックピンが確実に出ているか確認して下さい。（4ヶ所）



支柱の折畳部にあるジョイント金具部のロックピンのロックが不十分な場合、階段枠が折りたたまれて転倒や転落の恐れがあります。



ロックピン

- 警告** 幅木が確実にセットされているか確認してください。
- 警告** 囲いが確実にセットされているか確認してください。

6. 作業台を設置するとき

- 警告** 作業台を高くするために支柱にパイプや木等をつないだり、台や箱、トラックの荷台などの上に乗せたりしないで下さい。また、天板の上に箱や椅子等を乗せたりしないで下さい。

つなぎ目が折れたり、台や箱が移動して転倒や転落の恐れがあります。

- 警告** 作業台を折りたたんだまま、建物に立てかけたり、水平にして使わないで下さい。

不安定使用のため、バランスをくずして転倒や転落の恐れがあります。

安全のために、必ず守っていただきたいこと

7. 昇り降りや作業をするとき

- 警告** 同時に2人以上乗らないで下さい。

作業台が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。



- 警告** 作業台から横に身体を乗り出して、作業をしないで下さい。

身体を乗り出すとバランスを崩して、転倒や転落の恐れがあります。

- 警告** 作業台を背にして登り降りしないで下さい。



身体が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

- 警告** 身体の安定が得られないような荷物を持って登り降りしないで下さい。

バランスを崩し、転倒や転落の恐れがあります。

- 警告** 天板の端や四隅および踏さんの両端に荷重をかけないで下さい。

天板の端や四隅に立っての作業や、踏さんの両端を登るとバランスをくずし転倒や転落の恐れがあります。

- 警告** 囲いより乗り出した作業は行なわないで下さい。



囲いより乗り出した状態ではバランスをくずし転倒する恐れがあります。

- 警告** 作業中、作業台の上で壁や物を無理に押したり、引いたりしないで下さい。



無理に押したり引いたりすると、反動で作業台が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。



- 警告** 囲いに乘ったり腰掛けないでください。



- 警告** 幅木の上には乗らないでください。

安全のために、必ず守っていただきたいこと

⚠ 警告 作業台から他への乗り移りは、しないで下さい。

⚠ 警告 作業台での作業で上ばかりに気をとられて足を踏み外さないようにして下さい。

⚠ 警告 作業台の上で脚立、はしごを使用しないで下さい。

⚠ 警告 荷を載せたまま作業台を移動しないで下さい。

⚠ 警告 静かに昇り降りし、天板、踏さんから飛び降りたりしないで下さい。

昇降時には、最下段の踏さんまで使って1段ずつ静かに昇降して下さい。

⚠ 警告 複数の作業台の天板上・踏さんに足場板などをかけて、足場などに使用しないで下さい。

⚠ 警告 本作業台には安全帯をかけないで下さい。

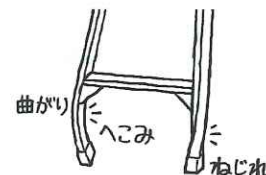
ご使用前の点検

本製品をお使いになる前は、下記の点検を行い異常のないことを確認して下さい。また、異常に対して処置のできるものは、正しい処置をした後に使用して下さい。

1. 目で見て点検

① 踏さん、天板にグリース、油、泥、雪、ペンキ、水等、滑りやすいものが無いか確認し、付いている場合はきれいに拭き取って下さい。

② 支柱に曲がり、ネジレ、ヘコミがありませんか。ある場合は絶対に使わないで廃棄して下さい。



③ 踏さんに曲がり、ヘコミがありませんか。ある場合は絶対に使わないで廃棄して下さい。



④ 天板に曲がり、ヘコミがありませんか。ある場合は絶対に使わないで廃棄して下さい。

⑤ リベット、ねじ、ピン等のゆるみや、抜け落ちがありませんか。ある場合は使用しないで下さい。

⑥ 各部の接合部に割れや著しい腐食がありませんか。また、取付部品の破損、脱落、変形、摩耗、著しい腐食はありませんか。ある場合は絶対に使わないで廃棄して下さい。

⑦ 端具がすり減ったり、外れていたりしていませんか。ある場合は、絶対に使わないで下さい。必ず弊社までご相談いただき、新しい端具と交換して下さい。

⑧ 囲いに曲がり、ネジレ、ヘコミがありませんか。ある場合は絶対に使わないで廃棄して下さい。

⑨ 伸縮脚のラック部に泥・ペンキ・モルタルなどがついていないか確認し、付いている場合は完全に取り除いてください。取れない場合は、絶対に使わないでください。

⑩ 伸縮脚のラック部に割れ・キレツがないか又は、凹んだりしていないか確認し、ある場合は絶対に使わないで廃棄して下さい。

⑪ 伸縮脚に曲がり、ネジレ、ヘコミがありませんか。ある場合は絶対に使わないで廃棄して下さい。

ご使用前の点検（日常点検）

2. 触って点検

- ① 各段の踏さんをねじってみて、ガタツキがないか点検して下さい。ガタツキがある場合は絶対に使わないで廃棄して下さい。
- ② 脚調節装置のノブ操作がスムーズに動くか確認し、動かない場合は絶対に使わないで下さい。
- ③ 伸縮脚がスムーズに動くか確認し、動きが悪い場合は、支柱と伸縮脚の間の泥・砂などの異物を完全に取り除き、支柱と伸縮脚の間に機械油・潤滑スプレーを注油して下さい。それでも動きが悪い場合は絶対に使わないで下さい。



- ④ ジョイント金具取付部のねじが緩んでいないか確認し、ゆるんでいる場合は工具を使用して締めて下さい。（締めすぎには注意して下さい）

3. 作業台を開閉して点検

- ① 作業台をスムーズに開閉できますか。スムーズに開閉できないときは、左右の回転金具に泥やセメント、ゴミ等の噛み込みがないか確認し、あれば取り除いて下さい。
- ② 左右の回転金具のゆるみや、ガタツキがありませんか。ガタツキがあるときは、回転金具のゆるみや外れが考えられますので、絶対に使わないで廃棄して下さい。
- ③ ジョイント金具部のロックピンが確実にロックされるか確認し、ロックされない場合は絶対に使わないでください。（ロック時にカチッと音がします）

設置場所について

- 平坦で安定した場所、滑りにくい場所、また、作業台が埋もれない場所を選んで設置して下さい。
- 雨や水のかからない場所、強い風を受けない場所に設置して下さい。
- 作業台の周囲に危険な物がなく、バランスの良い作業姿勢で使える位置に設置して下さい。
- 設置後は作業台にガタツキがないか確認し、ある場合は伸縮脚を調整するか、作業台の位置を移動してガタツキなどを取り除いて下さい。



注意

人が通行する場所に設置するときは、通行する人がつまずいたりしないよう設置場所に十分注意して下さい。

作業台の使い方

組立手順を厳守しないと死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

1. 使用状態にするときとたたみかた

〈組み立てるとき〉

※1人で不安定な場合は2人で行なって下さい。

- ① 作業台を折りたたんだ状態のまま、横に置いてください。

※背面枠を下にして置いてください。



- ② 固定ベルトを解除してください。（1箇所）



- ③ ジョイント金具部収納フックを解除してください。（2箇所）



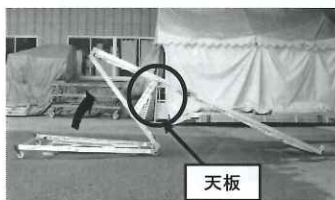
作業台の使い方

- ④ 片側の階段枠をゆっくり開いてください。

⚠ 警告 ジョイント金具部のロックピンが左右ともに確実に突出しているか確認してください。

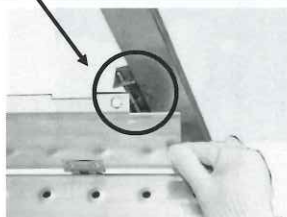


- ⑤ 開いた階段枠を持ち上げてください。(天板も同時に開きます)
⚠ 注意 手をはさまないように注意してください。



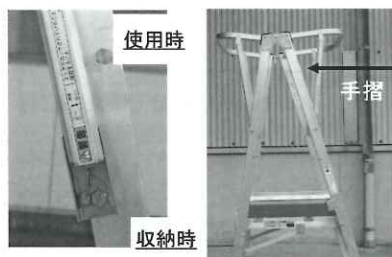
- ⑥ 幅木(左右)を支柱側に開きセットしてください。
⚠ 注意 ピンがきちんと飛び出しているか確認してください。

ピンが飛び出しているか確認

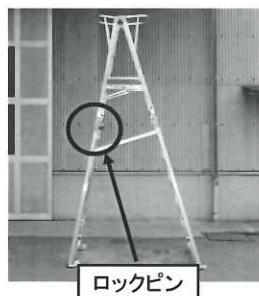


- ⑦ 囲いをセットしてください。(2箇所)

- 左右のフックを収納時のピンから取り外してください。
- 囲い支柱を持ち上げ、フックを使用時のピンに引っ掛けてください。



- ⑧ もう一方側の階段枠を起こしてください。
⚠ 警告 ジョイント金具部のロックピンが左右ともに確実に突出しているか確認してください。



- ⑨ 左右の開き止め金具をセットしてください。



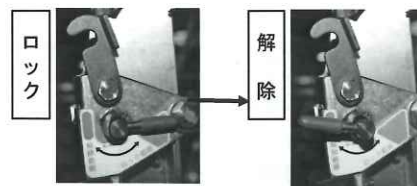
・開き止め金具のセット位置よりも下部の支柱を押しながらセットしてください。

作業台の使い方

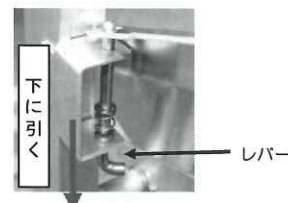
〈たたむとき〉

※組立時の逆手順となります。

- ① 開き止め金具を解除して、元の収納部へセットしてください。
- ② ジョイント金具部ロックピンを解除して階段枠を折畳んで下さい。(片側の枠のみ)



- ③ 囲いと幅木を収納してください。幅木はレバーを下に引いて解除して下さい。



- ④ もう一方のジョイント金具部ロックピンを解除して階段枠を折畳んで下さい。
⚠ 注意 囲いの支柱間で手を挟まないように注意して下さい。



- ⑤ ジョイント金具部収納フックをセットしてください。

- ⑥ 固定ベルトをセットしてください。

2. 昇りかた・降りかた・作業のしかた

- 昇る前に必ず開き止め金具が確実にロックされていることを確認して下さい。



- 昇る前に必ず天板が水平になっていることを確認して下さい。

- ジョイント金具部のロックピンが全てロックされていることを確認して下さい。

- 安全靴等、滑りにくい履物を履いて下さい。

- 身体の前面を昇降面に向け、慎重にゆっくり昇り降りして下さい。

- 荷物があるときは、背中に背負う等して両手を使えるようにして下さい。

- 降りるときは、1段ずつ踏さんに足をかけ最下段の踏さんまで使って慎重にゆっくり降りて下さい。

- 囲いを持つての昇降は絶対にしないで下さい

- 作業中に作業台を移動させるときは、作業台から一旦降りてから移動して下さい。

- 背面側の階段枠から絶対に昇らないでください。

- 踏さん上での作業は絶対に行わないでください。

使用後のお手入れと保管のしかた

1. お手入れのしかた

本製品にとって泥、汚水、セメント、石灰、海水は大敵です。いつもきれいにしておいてください。

《掃除のしかた》

- ① 汚れは濡れ雑巾などで、きれいに拭き取って下さい。
- ② 汚れが著しい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。
- ③ 油系の汚れは、クリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤が残らないようにきれいに拭き取って下さい。

※伸縮脚部と脚調節装置部は特に上記の要領でお手入れください。

⚠ 注意 クリーナーや洗剤をつけたままにしていると、腐食の原因になります。

2. 保管のしかた

- ① 雨や直射日光の当たらない風通しの良い乾燥した場所を選んで、保管して下さい。
- ② 本製品が濡れている時は、十分に乾燥させてから保管して下さい。



注意

保管中は、本製品の上に物を置かないで下さい。変形の原因になります。

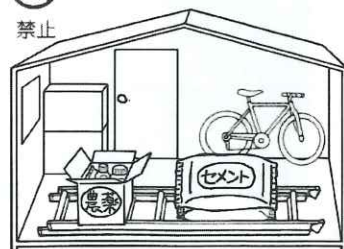


注意

農薬やセメント、石灰の近くに本製品を置きますと、化学反応を起して腐食の原因になりますので絶対に置かないで下さい。



禁止



移動・積み重ねのしかた

《移動のしかた》

設置時

- ① 伸縮脚が縮まれているか確認してください。
※縮めなければ伸縮脚の破損・変形の原因となります。
- ② 背面枠を軽く持ち上げ、キャスターを転がして移動してください。
- ③ 凹凸の地面でのキャスターでの移動は、破損する恐れがありますので行わないでください。

収納時

- ① 伸縮脚が縮まれているか確認してください。
※縮めなければ伸縮脚の破損・変形の原因となります。
- ② 作業台を軽く持ち上げ、キャスターを転がして移動してください。
- ③ キャスターを使用しない状態で、引きずらないでください。
破損・変形の恐れがありますので行わないでください。
- ④ 凹凸の地面でのキャスターでの移動は、破損する恐れがありますので行わないでください。



キャスター

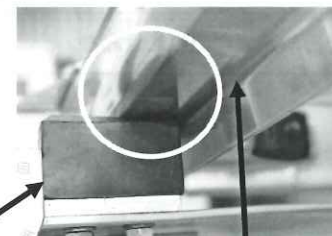
《積み重ねのしかた》

- ① 積み重ねをする場合は、作業台を互い違いにゆっくりと置いてください。
※強い衝撃を与えないようにしてください。
- ② 積み重ね時は、下にくる作業台の緩衝ゴムの上に、上の作業台の踏さんの平らな部分がのるように置いてください。
- ③ 作業台を積み重ねるときは、最大5台までにしてください。



注意

上記以外の積み重ねをすると、破損や変形の恐れがありますので注意して下さい。



緩衝ゴム

踏さん

故障かな？と思ったら（不調診断）

〈現象〉使った時にグラグラする

点検する箇所	処置のしかた
支柱と踏さんの接合部にゆるみやガタツキがありませんか。	ある場合は使わないで、廃棄して下さい。
支柱と回転金具の・ジョイント金具の接合部に、ゆるみやガタツキはありませんか。	ある場合は使わないで、廃棄して下さい。

〈現象〉天板が確実に水平にセットできない

点検する箇所	処置のしかた
天板・ステーが変形していませんか。	ある場合は使わないで、廃棄して下さい。
天板・ステーの機能がそこなわれるような破損や変形がありませんか。	ある場合は使わないで、廃棄して下さい。

〈現象〉囲いが確実にセットできない

点検する箇所	処置のしかた
フックに破損や変形がありませんか。	ある場合は使わないで、廃棄して下さい。
囲いが破損や変形などしていませんか。	ある場合は使わないで、廃棄して下さい。

〈現象〉大きくガタガタしている

点検する箇所	処置のしかた
全体が大きく変形していませんか。	変形している場合は使わないで、廃棄して下さい。
支柱、踏さん及び天板に曲がりヘコミなどの変形はありませんか。	ある場合は使わないで、廃棄して下さい。
端具が外れていたり、擦り減ったりしていませんか。	外れていたり、摩り減っていたりしている場合は使わないで、弊社までご相談ください。
各結合部のゆるみや脱落がありませんか。	ゆるみのあるものは締結し、それでもガタツキがある場合は使わないでください。

故障かな？と思ったら（不調診断）

〈現象〉折りたためない

点検する箇所	処置のしかた
天板の変形、回転金具の変形、支柱の変形、ステーの変形は、ありませんか。	変形している場合は使わないで、廃棄して下さい。

〈現象〉伸縮脚が動かない

点検する箇所	処置のしかた
伸縮脚が曲がっていませんか。	曲がったものは使わないでください。廃棄してください。
伸縮脚と支柱の間に泥、砂、ペンキ、モルタル、小石が付着していませんか。	異物を完全に取り除き、支柱と伸縮脚の間に機械油、潤滑油スプレーを注入し、それでも動きが悪い場合は廃棄してください。
伸縮脚と支柱の間に凍結していませんか。	

〈現象〉伸縮脚がロックできない

点検する箇所	処置のしかた
伸縮脚のラック部に泥、砂、ペンキ、モルタル、小石が付着していませんか。	ラック部の目づまり（異物）を完全に除去してください。又、取れない場合は使わないで廃棄してください。
伸縮脚のラック部に凍結や雪による目づまりはしていませんか。	
伸縮脚のラック形状が欠けたり、かどが磨耗又は凹んだりしていませんか。	ある場合は使わないでください。廃棄してください。

〈現象〉脚調節装置のノブが動かない

点検する箇所	処置のしかた
脚調節装置部に泥、砂、ペンキ、モルタル、小石がはいりこんでいませんか。	ある場合は異物を完全に取り除き、ブラケットの注油口より機械油、潤滑油スプレーをしてください。それでも動きが悪い場合は使わないで廃棄してください。